

# No. 1060

## カチドキ五月晴れ

—さつき賞—

五月晴れの5月3日、12万余のファンを集めて東京競馬場で開かれた第34回さつき賞。スタートからニシキエース、ミホランザンといった東の快速馬が逃げまくり、後続馬との差、約30馬身、スタンドがざわめきます。しかし直線に入ってスピードの乗ったカタノカチドキはあっという間に先行2頭をかわすと、余裕のスライドでゴールへ。武邦彦騎手の好騎乗で、2分01秒7のさつき賞レコードで快勝、無敗の7連勝を飾り、三冠馬へ力強い第一歩を踏み出しました。

## 無認可保育所

「つくしの家」

江東区大島4丁目公団住宅団地の片隅に「つくしの家」がある。○歳児をあずかる無認可保育所のひとつだ。共働きの若いお母さんたちで運営されてる「つくしの家」は、昭和47年秋病院の一室を借りてスタートした。しかし、病院が縮小されて以来、トイレも、ガス・水道の設備もなくなった。もうすでに10カ月以上になる。保母さん達の朝は、となりの棟の診療所の外来病棟の炊事場での水の汲みから始まる。そして、離乳食もここでつくり、つくしの家に運ぶ。ミルクのホ乳ビンも洗いものは、すべてここだ。一日に何度も往復しなければならぬ。これでは、子供達の面倒を責任もつてみれないと、最近保母の一人がやめていった。

診療所側から近々炊事場の利用をやめてもらいたいという要望が「つくしの家」にとどけられた。お母さん達と保母さんが集まってどうしたらいいかを話し合った。自分達で設備をつけるとなると300万円近い金がかかる。とてもつくれる資金ではない。昨年11月に区議会に提出した炊事場やトイレの設備をつくって欲しいという請願も、継続審議になったままだ。

もう一度区役所へ行こう。再度区長に請願しようということになった。しかし区長は、これまでのように、新しく出来た団地だけに力を入れることはできない。まあいっしょうけんめいやるが、というにえきらない返事であった。いつまでこんな状態がつづくのか。ものいわぬ子供と保母さんの献身におんぶして無認可保育所「つくしの家」がある。